



平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月9日

上場会社名 株式会社ボルテージ
コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 津谷 祐司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部管轄 (氏名) 松永 浩

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成29年5月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	6,857	20.0	66	85.0	74	82.7	13	
28年6月期第3四半期	8,571	8.8	443	97.4	428	72.1	218	138.1

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 11百万円 (93.8%) 28年6月期第3四半期 182百万円 (41.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	2.55	
28年6月期第3四半期	42.28	41.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	4,581	3,702	80.8
28年6月期	4,905	3,868	78.9

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 3,702百万円 28年6月期 3,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		15.00	15.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年6月期の配当予想は未定としております。

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	15.3	150	71.7	150	69.3	10	95.2	1.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	5,197,573 株	28年6月期	5,195,770 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	91,528 株	28年6月期	228 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	5,105,044 株	28年6月期3Q	5,170,942 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続くなかで、企業収益は改善しました。また、個人消費は、消費者マインドに持ち直しの動きがみられ、実質総雇用者所得が緩やかに増加しており、総じてみれば持ち直しの動きが続いております。

モバイルビジネスを取り巻く環境は、平成28年3月末時点のスマートフォン契約数が7,715万件（端末契約数の59.9%）となり、スマートフォン契約数は平成30年度に1億件に達する見通しとなっています（注1）。

このような環境の下、当社グループは、基幹モデル（既存展開）の収益維持、基幹モデル（新展開）の規模拡大と収益化、新規モデルの早期収益化を目指し、事業を運営しており、当期第2四半期連結会計期間より、区分ごとに取り組むべきことが明確になったことで、区分名を基幹シリーズ、新シリーズ、実験作へそれぞれ変更しております。

当第3四半期連結累計期間における売上は、基幹シリーズの減少は想定通りとなったものの、新シリーズ及び実験作・その他の立ち上がりは想定よりも遅れ、6,857,063千円（前年同期比20.0%減）となりました。なお、第3四半期連結会計期間末である3月には、新シリーズ及び実験作・その他のいくつかの新規タイトルを配信開始しており、業績への寄与は第4四半期以降になると見込んでおります。

費用は、広告宣伝費の抑制等により大幅に減少しましたが、売上の減少を補てんするには至らず、営業利益は66,545千円（前年同期比85.0%減）、経常利益は74,081千円（同82.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は13,038千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益218,638千円）となりました。

事業区分別の業績は、以下の通りであります。なお、当期第2四半期連結会計期間より、事業区分名を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の事業区分名に組み替えて比較しております。

①基幹シリーズ

基幹シリーズは、恋愛ドラマアプリのうち、「F2P（注2）シリーズ」と「P2P（注3）シリーズ」が該当します。

主に「F2Pシリーズ」のソーシャル専門PF（注4）向けと「P2Pシリーズ」のOS系PF（注5）向けの減少が続き、売上高は4,979,174千円（前年同期比26.9%減）となりました。

②新シリーズ

新シリーズは、ターゲット層や制作技術を基幹シリーズから派生させたシリーズ群です。平成29年6月期は、「シーク（注6）ドラマシリーズ」「L10N（注7）シリーズ」が該当します。

「L10Nシリーズ」において一部のF2Pタイトルが好調だった一方、既存のP2Pタイトルが不調だったことや、「シークドラマシリーズ」の不調により、売上高は1,365,636千円（前年同期比19.3%減）となりました。

③実験作・その他

実験作は、ターゲット層や制作技術が基幹シリーズ、新シリーズとは異なるシリーズ群です。平成29年6月期は、「P2P DRAGON（注8）シリーズ」「F2P US REAL（注9）シリーズ」「男性向けサスペンスシリーズ」「パズルアクションゲームシリーズ」「モーション（注10）シリーズ」が該当します。

「男性向けサスペンスシリーズ」の拡大及び「パズルアクションゲームシリーズ」の積み上げにより、売上高は512,252千円（前年同期比691.3%増）となりました。

（注）1. 出所：株式会社MM総研「2016年度上期 携帯電話端末出荷と契約数の推移・予測」平成28年11月10日発表

2. F2P：Free-to-Playの略称。基本プレイ無料・アイテム課金制のコンテンツ

3. P2P：Pay-to-Playの略称。ストーリー単位の個別課金制のコンテンツ

4. ソーシャル専門PF：GREE、Mobage、mixi、Ameba等のSNS PF

5. OS系PF：App Store、Google Play等のアプリマーケット

6. シーク：ヒロインが証拠を集め、世の中の嘘や偽りを暴いていくストーリーシリーズ

7. L10N：北米市場向けアニメ絵であり、日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳したコンテンツ。Localizationを意味する省略表記

8. DRAGON：北米市場向けアニメ絵であり、北米市場向けに作ったコンテンツ。北米向けにアレンジされたドラゴンロール寿司に由来。対ユーザー呼称AmeMix（アメミックス）

9. US REAL：北米市場向けリアル絵のコンテンツ（旧：USオリジナル）

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、4,581,005千円（前連結会計年度末比324,394千円減）となりました。

流動資産は、3,498,095千円（同207,831千円減）となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少132,361千円及び、売掛金の減少131,130千円等によるものであります。

固定資産は、1,082,910千円（同116,563千円減）となりました。その主な要因は、ソフトウェア資産の償却等による無形固定資産の減少53,466千円及び、サーバーの除却等による有形固定資産の減少32,027千円等によるものであります。

(負債の部)

負債は、878,904千円（同158,447千円減）となりました。

流動負債は、878,904千円（同158,447千円減）となりました。その主な要因は、テレビCMの出稿費用の支払等により未払費用が100,135千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

純資産は、3,702,100千円（同165,946千円減）となりました。その主な要因は、自己株式の取得による減少99,942千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは平成29年6月期第4四半期以降も、引き続き「3年戦略（平成29年6月期から平成31年6月期）」に基づき事業を運営してまいります。第3四半期末に配信開始した読み物アプリ「Lovestruck: Choose Your Romance」「ワタシドラマ」や、カジュアル層をターゲットとした「フェイク～芸能人は全員嘘つき？～」等の複数の新シリーズ・実験作のタイトルの売上拡大を図り、また、今夏に配信開始を予定している女性コア層向けブランド「ボルテージドリーム」の第1弾タイトル「アニドルカラーズ」の開発を進めてまいります。

以上により、平成29年6月期の連結業績予想につきましては、平成29年2月8日付の「平成29年6月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました内容から修正なく、売上高9,500百万円（前期比15.3%減）、営業利益150百万円（同71.7%減）、経常利益150百万円（同69.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円（同95.2%減）を見込んでおります。今後予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,237,800	2,105,439
売掛金	1,290,622	1,159,491
前渡金	61,480	36,888
前払費用	81,252	89,211
繰延税金資産	32,475	61,099
その他	3,404	46,842
貸倒引当金	△1,109	△877
流動資産合計	3,705,926	3,498,095
固定資産		
有形固定資産	209,919	177,892
無形固定資産		
ソフトウェア	473,277	419,811
無形固定資産合計	473,277	419,811
投資その他の資産	516,276	485,206
固定資産合計	1,199,473	1,082,910
資産合計	4,905,400	4,581,005
負債の部		
流動負債		
買掛金	188,906	194,262
未払金	5,099	16,540
未払費用	603,545	503,410
未払法人税等	96,519	20,773
賞与引当金	-	120,109
その他	143,280	23,808
流動負債合計	1,037,352	878,904
負債合計	1,037,352	878,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	936,148	936,466
資本剰余金	901,748	902,066
利益剰余金	2,031,050	1,940,078
自己株式	△196	△100,139
株主資本合計	3,868,750	3,678,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	823	3,543
為替換算調整勘定	△1,526	20,086
その他の包括利益累計額合計	△702	23,629
純資産合計	3,868,047	3,702,100
負債純資産合計	4,905,400	4,581,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	8,571,280	6,857,063
売上原価	3,232,611	3,042,013
売上総利益	5,338,669	3,815,049
販売費及び一般管理費	4,895,458	3,748,504
営業利益	443,210	66,545
営業外収益		
受取利息	646	700
受取配当金	92	83
助成金収入	16,015	-
為替差益	-	1,900
雑収入	843	4,861
営業外収益合計	17,598	7,545
営業外費用		
為替差損	32,329	-
雑損失	-	9
営業外費用合計	32,329	9
経常利益	428,480	74,081
特別損失		
固定資産売却損	-	3,890
固定資産除却損	6,051	1,505
特別損失合計	6,051	5,395
税金等調整前四半期純利益	422,428	68,685
法人税、住民税及び事業税	201,171	115,970
法人税等調整額	2,618	△21,949
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	-	△12,297
法人税等合計	203,789	81,724
四半期純利益又は四半期純損失(△)	218,638	△13,038
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	218,638	△13,038

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	218,638	△13,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,354	2,719
為替換算調整勘定	△34,375	21,612
その他の包括利益合計	△35,729	24,332
四半期包括利益	182,908	11,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,908	11,293

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年8月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式91,300株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が99,942千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が100,139千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。